

【補足】記号について

N……ナレーション

M……その人物のモノログ（独白）

セリフの中にある括弧書き……心情や状況についての補足

登場人物と設定

- オサム 中3男。サッカー部。背番号5番。気が強い方ではなく、プレッシャーに弱い。トモノリとは同じクラスだが、親友のような関係ではない。
- トモノリ 中3男。サッカー部。背番号6番。レギュラーでチームを支えるが、やや行き過ぎた悪ふざけをするなど、子どもっぽい面も残る。PK負けに納得がいかない。

1コマ目 PK戦での敗北。

N 「今年こそは全国に行くぞ！」そんな思いで、きびしい

練習をのりこえてきたサッカー部。

ところが、地区大会の初戦、試合はまさかまさかのPK戦にもつれこんだ。

最後のキッカーはオサム。しかし……。

無情にも、オサムのシュートは止められた。

2コマ目 ショックを受けるチーム。

N

試合終了。

オサムを慰める者、まだ負けを受け入れられない者。みな、複雑な気持ちのまま、夏は終わってしまった。そして、トモノリも、もやもやした気持ちをかかえた者の一人だった。

3コマ目 トモノリの部屋。

N

その日の夜、トモノリの部屋。

M
トモノリ

あーあ、あんなにがんばってきたのに、あっけなく終わっちゃったなー。

……それにしても、オサムのPK、あのコースはないよなー……。あーあ、しょうがないんだけど、なんかもやもやするなー。

……そうだ、自分のプロフィール欄になら……。どううすぐ消すし……。

(ステメに、対象を明示しない曖昧な内容の悪口を書こうと思いつく。そうした行為は、仲間内でも時折みられる行為である。ここでは、オサムを強く貶めたりいじめたりする意図はなく、ちょっとした悪ふざけのつもり。一部の友人がステメに気づき、少しだけウケたらよいと思っている。ただし、そうしたことはつきりと認識している訳ではなく、よく考えずに書き込みをしている。また、書き込み後に何が起るかについてもあまり考えてはいない。)

4コマ目 トモノリの書きこみ。

M
トモノリ

PK職人が終わらせた夏(笑)

N

トモノリは、メッセージアプリを開き、自分のプロフィール欄に書きこみをした。
少しだけ、気が晴れたトモノリであった。

5コマ目 書き込みを見てしまうオサム。

N

ところが……。

M
オサム

あれ、これって……。 (PKを外し落ち込んでいることもあり、ステメを見てさらに傷つく)

6コマ目 次の日の朝。

N

次の日、オサムは学校を休んだ。
朝、そのことに気がついたトモノリは、自分の心がざわつくのを感じた。

M
トモノリ

え、もしかして……おれのせい？
いやいや、でもあんなのただのギャグだし、別にオサムのことだって書いてないし。うそだろー。

(自分のステメのせいだということを実際には理解しているが、「悪口のつもりはない」「オサムが本気で受け取りすぎ」というように自己欺瞞に陥ってしまってもいる)

終